



これをあは？

『時刻の異なる2つの時計』

ある写真屋さんの出入口の上のこの2つの時計。2つの表示している時刻が異なるので一瞬戸惑いを感じますが、じっくり見ると、片方の時計の下に「仕上がりの時間」、もう一方には「ただいまの時間」と書かれています。つまりこの時計は、左側が現在の時刻を表示した時計で、右側は写真の現像・焼き付けをお願いした時のでき上がりの時刻を表示した時計だったのです。

以前は写真の現像・焼き付けをお願いすると、でき上がりは早くても翌日だったのですが、最近は60分以内が当たり前になりました。この写真屋さんでは、混んでいないと時計の時間差のとおり23分で仕上がるんだそうです。

ふるさと大館へ

大館ふるさと会からのたより ④

副会長 工藤 禮次郎さん



大館を離れて今年で四十二年になります。何年経ってもふるさととは忘れがたいものです。
東京鳳鳴会、同事務局、秋田県高校同窓連合会、大館市企業誘致促進小委員会などに参加するなか、大館ふるさと会が誕生。ふるさとを思う心はどの会でも同じで、いつも話題が豊富。
さて、第二回総会に向けて役員会も再三行われており、この五月十二日には本年度の骨子を討議する役員会が開かれました。その中の代表的な議案として運営部会設

立が提案され、イベント部会（部長工藤禮次郎）、観光物産部会（同阿部鐵男さん）、対外交流部会（同石川定男さん）、広報部会（同真壁貞子さん）の四部会を設け、役員諸氏総出演で各部会に参加していただくこととしました。
イベント部会は主に会場設定・アトラクションを担当し、観光物産部会と合同で第二回総会の目玉であるふるさと物産朝市を計画。ふるさととの交渉及び広く大館を知ってもらうため、江東区東陽町の人たちにも参加いただきたいのイベントとすることができないか考えています。対外交流部会は在京の各ふるさと会への招請と交流を、広報部会は登録者約二千人の会員名簿の発行、併せて総会時のプログラムを作成・広告主の勧誘など盛り沢山の提案がなされ、ふるさと大館に心はせているところです。

大館の方言講座

病気に関する言葉

- ◆アガタグレ…火傷・凍傷などの赤むくれ
- ◆サブキ…咳
- ◆シサブキ…百日咳
- ◆シミバレ…しもやけ
- ◆ゼッピー・ジェッピー…ぜんそく
- ◆ドシ…慢性伝染病
- ◆ネゴモノ…ふきでもの
- ◆フケサメ…病勢の一進一退・精神の不安定な状態
- ◆マメシ…健康・達者
- ◆メッパ…ものもらい
- ◆ヤミヤト…病人
- ◆ヨチバレ…寝小便・夜尿症

『大館市史』から

7月のテーマ関連図書コーナー
親子読みきかせ会
中央図書館の休館日
毎月第1金曜日 14時30分
7月16日、27日

町花伝（阿部龍太郎）◇対話の時間（長田弘）◇ひまわりの日々（伊万智）◇日米政治破壊（日高義樹）◇漢詩人百人一首（渡部英喜）◇ピーター・フランクルの算数名問題（ピーター・フランクル）◇孤独の心理学（大原健士郎）◇失われし友情（ドナルド・ウインダム）◇老いた子が老いた親をみる時代（林京子）◇イギリス・カントリー紀行（土屋守）◇白旗伝説（松本健一）
◇コンスタンスの日記（パトリシア・クラップ）◇おいけのまわりをぐるりとまわり（いのうえようすけ）◇まんがで見る日本の戦後50年（岩崎書店）◇猫と海賊（なだいなだ）◇ちようちよ（コヴァリ）◇イルカのがみ（廣瀬裕子）◇銀河鉄道からす座特急（川村たかし）ほか



『介子推』

私の本棚

中央図書館新着図書

宮城谷 昌光 著

講談社

中国では、介子推を悼み一日中火を用いない日「寒食」があるという。忠節と志の高さから、一貫して重耳を守った青年剣士介子推を描く、品質高い作品。
◇阿弥陀堂だより（南木佳士）◇空洞日本（鎌田慧）◇秋田の博物誌（本郷敏夫）◇生きものたちの部屋（宮本輝）◇馬追い旅日記（椎名誠）◇室